

金子錦一 （号） 戯作者。嘉永四年越後國生れ。明治四十一年一月十四日歿（一八五二—一九〇九）。號可猫仙史、可猫子、可猫居士、可猫散史、梅南逸史、竹通門靜枝、鐵骨散史、花通舍靜枝、香愛散史等。團々社に在籍、のち京都の『日出新聞』記者。和漢の學に通じ、狂歌の他狂詩作家として知られる。

著書に、『奈良團扇屏風の浪交』（香愛散史名、明治二十一年六月十五日共

和書店）、『（号）照白正夢双紙』（香愛散史名、明治二十一年六月十五日

共和書店）、『（号）みやゝ（鴛）』（花通舍靜枝名、明治二十五年四月七日花

井卯助編刊、（号）福町・積善館支店大阪・積善館發賣）、『（号）都の白浪』（梅南逸史・鳴

子逸史名、明治二十五年六月二十七日鈴木常松編刊、共和書店、大阪

・積善館）、『（号）朝日の光』（梅南逸史名、明治二十五年十一月二日大

阪・積善館、共和書店發賣）等。